

葉色さらに低下!! 異常高温に対応し、 穂肥を確実に施用!

長岡農業普及指導センター

稲作情報(臨時)

代表電話: 0258-38-2557

E-mail: ngt111440@pref.niigata.lg.jp

【現在の生育状況と今後の管理(コシヒカリ)】

- ・高温のため平年・前年より出穂は早まります。また、高温により急激に葉色が低下してきています。

【穂肥】

- 分施のほ場は、生育診断に基づき、1回目の穂肥を確実に施用しましょう。
- 高温が予想されるため、2回目の穂肥はしっかり施用しましょう。
- 一発基肥のほ場においても、著しい葉色低下が見られたら追肥を行いましょう。

【コシヒカリ調査ほの生育状況(7月13日現在、管内24か所・田植日平均5月11日)】

草丈	: 74 cm	(指標値比 104 %	= 並	7/8より +7.0 cm)
葉色	32.5	(指標値差 -2.9	= 淡い	7/8より -2.1)

1か月予報(07/11~08/10)新潟地方気象台 7/9 発表

期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

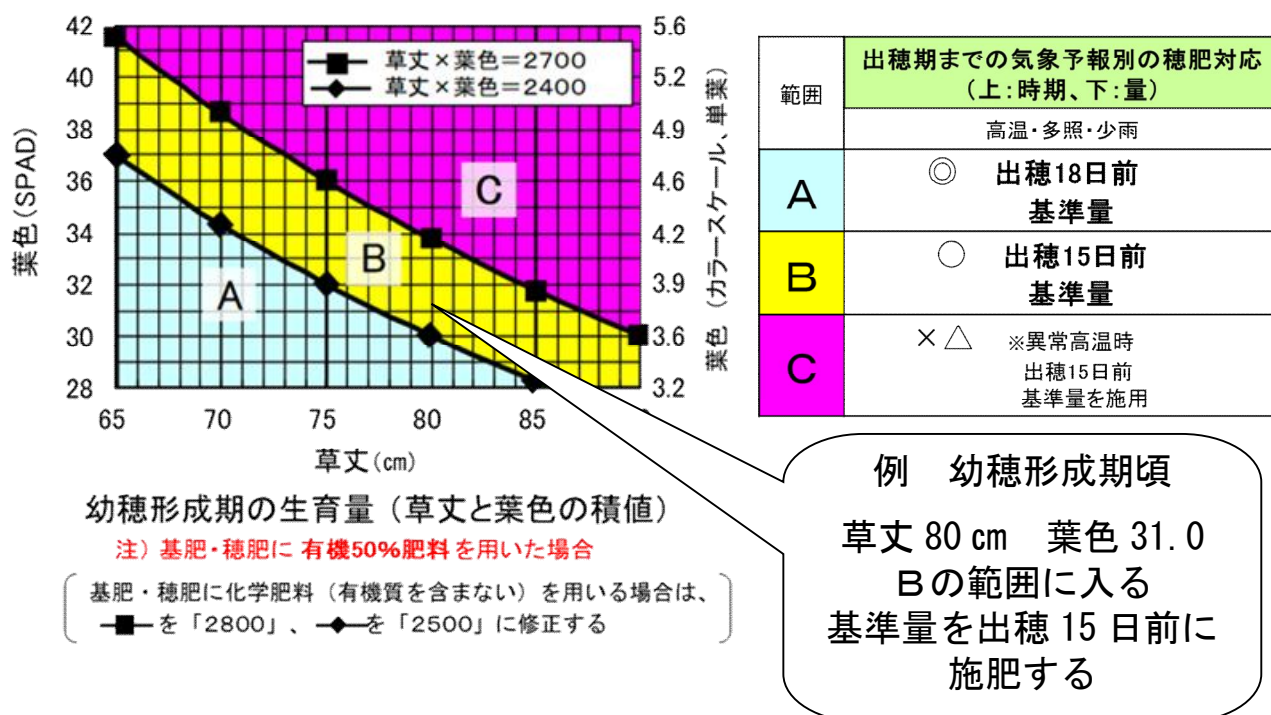
**暑さが続いています。農作業中の熱中症に注意しましょう。
適宜休憩をはさみ、農作業事故に注意しましょう。**

1 コシヒカリの1回目穂肥～“生育診断に基づき確実に施用”

- (1) 葉色が急激に低下しています。生育診断を行い、適切に穂肥を施用しましょう。
- (2) 草丈が長く、葉色が濃い場合は、倒伏防止のため1回目穂肥は慎重に判断しましょう。
- (3) 一発基肥のほ場も著しい葉色低下が見られたら追肥を行いましょう。
- (4) 高温のため、分施・一発とも葉色が急激に低下しているので、ほ場の様子に注意しましょう。

【コシヒカリの1回目穂肥診断】異常高温による葉色低下が懸念されます！

① 草丈・茎数の範囲(A・B・C)を確認



2 コシヒカリ2回目穂肥 ～ “必ず施用”

- (1) 生育診断の結果、1回目穂肥を施用できなかった場合においても、2回目穂肥は下位節間の伸長に影響しないため必ず施用しましょう。
- (2) 1回目穂肥が出穂期18日前より遅れた場合は、1回目穂肥を施用した日の7日後をめやすに2回目を施用しましょう。

3 コシヒカリ3回目穂肥 ～ “葉色に応じて施用”

- (1) 2回目の穂肥を施用しても高温により葉色低下し、出穂期の葉色が指標値のSPAD値33を切りそうな場合は、追加穂肥を実施しましょう。
- (2) 一発基肥のほ場も著しい葉色低下が見られたら追肥を行いましょう。